

実用化 事例

ツキ板を利用した建具「景(光)」の製品化

【相手先企業】

安達建具店

【 内 容 】

木を薄くスライスしたツキ板の光を通す性質を建具へ応用することを目的として、H19年度に企業と当センターとで共同で開発を行った結果、今年度製品化され販売に至りました。

当センターでは建具の美観の保持を目的として、ツキ板の樹種毎の変色特性を調べ、材種選択のためのデータ収集を行い、その数値を基とした建具設計のアドバイスや、実用新案取得のアドバイスを行いました。

【 製品について 】

「景(ひかり)」は、ツキ板と呼ばれる木材を薄くスライスした材料を使うことによって、表面が木目でありながら灰かに光を通す機能を持たせた建具です。

昼と夜、または照明の有無で全く違った表情になり、和・洋室どちらにでも使用できる新感覚の建具です。



○特徴

- ・周囲の光源状況により建具内部に組込まれた組子模様が浮かびあがります。
- ・好みによってツキ板の材種を自由に差し替えられます。
- ・純和風の部屋、洋風の部屋どちらでも使用可能です。
- ・要望に応じてデザイン・設計が可能です。
- ・販売価格－¥95,000～／枚（ツキ板及びフレームの材種により変動）
- ・販売形態－受注生産（H20年6月より受注開始）
- ・用途－間仕切り建具やドア、FIX窓などのワンポイント。

※ 実用新案取得（企業申請：登録実用新案第3147611号）

※ 2008年いばらきデザインセレクション入賞製品

基礎となった事業

平成19年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

現在の担当部門

産業連携室

主任研究員 寺門 秀人

TEL：029-293-7212